

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

妊娠高血圧症候群合併妊娠における硬膜外無痛分娩の分娩転帰

1. 対象となる患者さん

2022 年 4 月～2025 年 12 月の間に当院で妊娠高血圧症候群（HDP）合併妊娠に対して経膣分娩を目指す方針で管理した患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 産婦人科学講座 牧野 佑子

3. 研究の目的と意義

この研究は、診療記録の情報をもとに、妊娠高血圧症候群をもつ患者さんにおいて、硬膜外無痛分娩を行った場合と行わなかった場合とで、お産中の血圧の上がり方や、お産の経過・赤ちゃんの状態にどのような違いがあるかを調べることを目的としています。

妊娠高血圧症候群は、お産の途中に血圧が急激に上がることがあり、脳出血など重い合併症につながる危険があることが知られています。当院では、こうした血圧の急上昇を防ぐために、妊娠高血圧症候群の患者さんに対して医師の判断のもとで無痛分娩を行っています。しかし、無痛分娩にどれだけ血圧を抑える効果があるのかについて、詳しく調べた研究はまだ多くありません。

この研究によって、無痛分娩による血圧を抑える効果や、経膣分娩が安全に行えるかどうかについて、より詳しいことがわかります。その結果が、妊娠高血圧症候群をもつ患者さんのお産に対する、より安全で適切な管理につながることを期待されます。

4. 研究の方法

対象となる患者さんのカルテから、5. に示す診療情報を収集します。収集した情報をもとに、お産中に血圧が上がったために帝王切開になった割合や、生まれてきた赤ちゃんの状

態を調べ、硬膜外無痛分娩を行った患者さんのグループと、行わなかった患者さんのグループとを比較・検討します。

5. 使用する情報

- 診断名（妊娠高血圧症候群の有無・病型）
- 年齢・分娩歴（初産・経産の別）
- 分娩方法（経膈分娩・帝王切開の別）
- 器械分娩を実施した理由
- 帝王切開を実施した理由（血圧上昇によるものかどうか）
- 無痛分娩の実施状況（実施の有無・適応の種別）
- お産中・お産後の血圧の値
- 降圧剤使用の有無・種類
- 分娩経過に関する情報（分娩所要時間、分娩進行異常の有無、器械分娩実施の有無とその理由）
- 赤ちゃんの状態：出生体重・臍帯動脈の pH 値・アプガースコア（生まれた直後の赤ちゃんの元気を点数で表したもの）・NICU 入院の有無

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 産婦人科 牧野 佑子

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：yukomakino@naramed-u.ac.jp